

自由律俳句

おおくさ編集室選

カナカナのしぐれ聞かぬ間に木犀散り敷く 生山 渡辺 圭子  
 霜のおりる頃ほんのりと頬紅さした山の肌 茶屋 木山 輝子  
 長く首を伸ばした大根の白い肌を抜く 茶屋 木山 操子  
 庭草とる年寄り一人無口でこつこつと 神戸上 柴田 篤子  
 読経に負けじと静寂の中蟬が鳴く 茶屋 長谷川由美子  
 夕やけこやけの手押し車で帰りを急ぐ 茶屋 小林 道子  
 葉だけの曼殊沙華きつぱりと面影捨てている 茶屋 藤原 寿郎

俳句

駄句駄句会編集室

朝寒や 支持を求めて 道に立つ 萩原 岡本 健三  
 返り花 苔生す塀の 中に生き 宮内 田邊登志美  
 やせ細る 我身しみじみ 夜の秋 宮内 木村萬佐子  
 朝冷の 肌にしみたる 野路の秋 宮内 船越 裕子  
 蕪菜引く つるべ落しの 老忙し 矢戸 和田 淑子  
 敬老日 中学生の おたよりに 神戸上 笹間 玲子  
 寒さます 生きものたちは 里に下り 萩原 金谷 松代  
 くじ引きに 子らははしゃいで 秋祭り 下石見 矢田貝 元

短歌

編む人の込めし想いを待ちわびる  
 人のつながり果たす「にちなん」  
 切なきは喪中通知の増える暮れ  
 やるせなきかな賀状を減らす  
 湯河 山田 司郎  
 あれば無でこれは空だと説く菩薩  
 衆生の悩み救う心経  
 阿毘縁 木村 民子  
 森林の抜き出し杉の秀穂が  
 令和の空に伸び伸び延びる  
 阿毘縁 木村 民子  
 木枯しに枯葉舞い散る山路を  
 落葉踏み締めノルディックウオーク  
 上石見 福田 輝之  
 西日差す青空に映り紅く燃ゆ  
 紅葉満開炎のごとく  
 下石見 浅川 三郎  
 毎日の勤めの如く妻は掃く  
 枯葉一枚一枚を愛でる  
 下石見 浅川 三郎

人の動き (敬称略)

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	住所
田邊 房代	81歳	上萩山
今岡 良子	92歳	下阿毘縁
汗部 八重子	90歳	生山
松尾 頼幸	88歳	多里
坪倉 美重香	90歳	福万来
岸本 正	75歳	福塚
坪倉 功	81歳	茶屋
丸山 和枝	91歳	三吉

(令和3年10月16日～令和3年11月15日受付分)

■世帯 1,955 (- 8) ■人口 4,284 (- 20)  
 ■男 2,037 (- 2) ■女 2,247 (- 18)  
 外国人を含めた世帯数と人口を掲載しています。  
 令和3年10月末日現在

「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

12月の日程

12月5日・19日(日) 14時～15時30分

場所 文化センター第3研修室

【お問い合わせ先】

石田由香里 (0800305219933)

浅野 博美 (090097341887)

「クリスマス」

「冬(寒い)」



人差し指をXの形に合わせ  
てそれぞれ斜め下に引く。



両腕と身体を縮こませ両手  
の拳を左右に震わせる。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

